

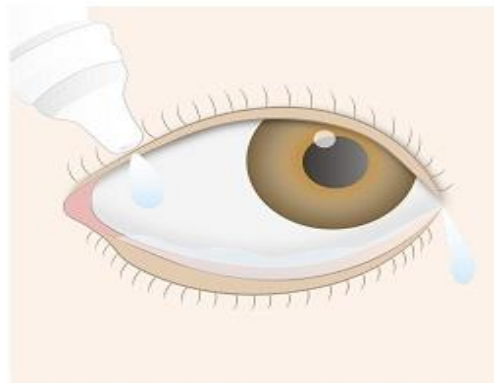
院内勉強会

硝子体内注射について

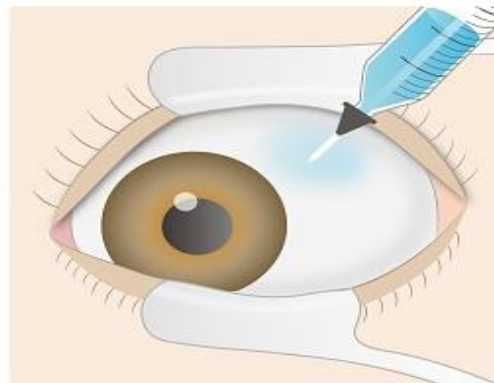
にいつ眼科院内勉強会 2022.6.16

硝子体内注射とは

- **加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫、網膜静脈閉塞症、強度近視による脈絡膜新生血管**など眼の奥の「網膜」に疾患がある場合、眼の玉(硝子体内)に直接薬剤を注射する治療法があります。



点眼消毒・麻酔



注射

●加齢黄斑変性症

年齢を重ねると、「黄斑」(眼の奥の「網膜」の中心部にあり、ものの形や色、大きさなどを見分ける重要な部分)に老廃物が溜まり、組織や血管にダメージを受け、視野の歪みや欠けが生じる病気です。

病気が進行すると視力の低下や失明に至る可能性があります。

●糖尿病黄斑浮腫

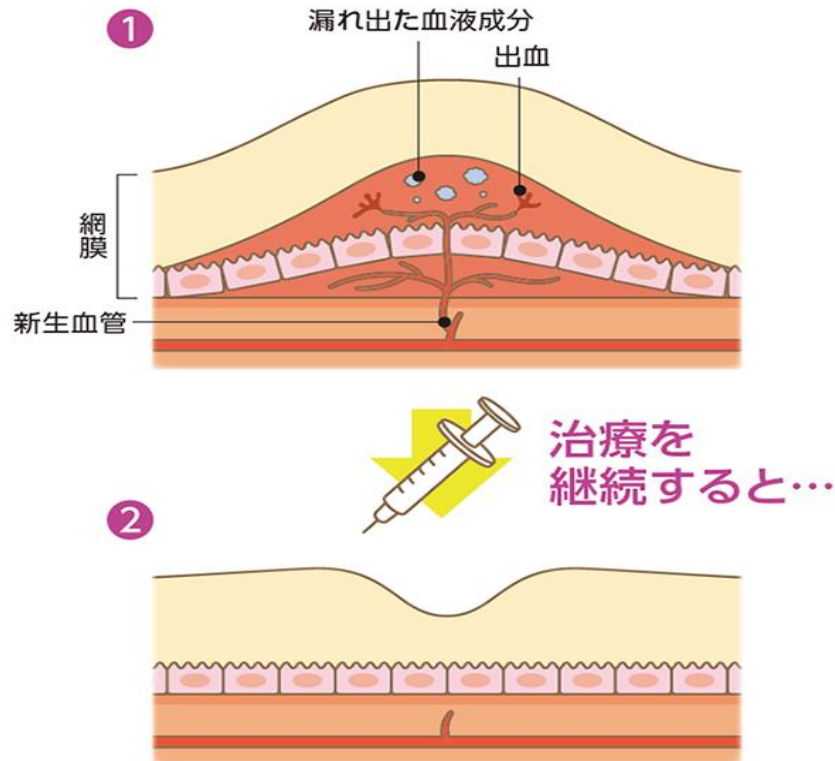
高血糖によって、眼の奥の網膜の中心にある「黄斑」にむくみ(浮腫)が生じて、視力低下を引き起こす病気です。糖尿病によって高血糖の状態が続くと、血管がもろくなったり、詰まったりして、血液が運ばれなくなったり、血管の外に血液成分が漏れ出てしまうようになります。そのため、かすみや歪みが生じたり、病気が進行すると視力の低下や失明を至ることもあります。

眼に薬剤の注射することによって

●加齢黄斑変性症

眼の中に薬剤を注射して、新生血管の成長や血液成分の漏れや炎症からくるむくみを押さえる治療法です。完治は難しく現状の視力の維持です。日帰りで治療できます。

<イメージ図>



硝子体内に薬剤の注射することによって

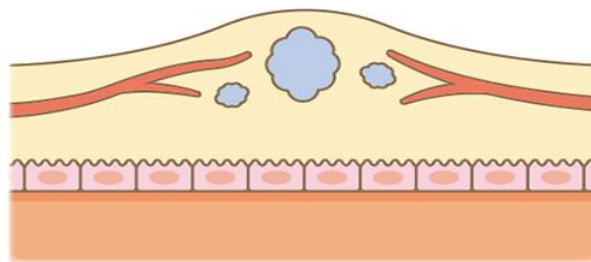
糖尿病黄斑浮腫

<イメージ図>

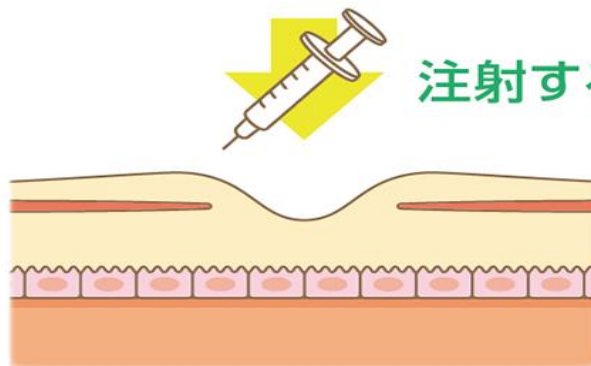
眼の中に薬剤を注射して、新生血管の成長や血液成分の漏れや炎症からくるむくみを押さえる治療法です。完治は難しく現状の視力の維持です。

日帰りで治療できます。

①

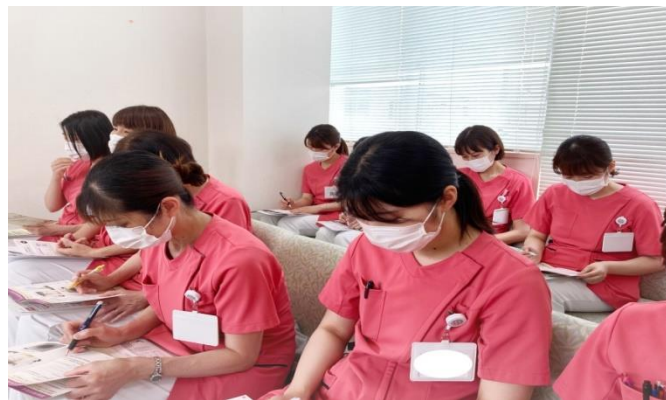


②



注射すると…

- 眼の奥に注射する薬剤は、
 - 「アイリーア」「ルセンチス」「バビースモ」
 - それぞれに特徴があります、患者様の病状に合わせて薬剤やその注射の頻度を決めます。



- 硝子体内注射の治療費は高額になりますが、医療費助成制度があります。ご相談ください。
- 「眼に注射」というと、怖いと思われそうですが、麻酔をしますので、ほとんど痛みは感じません。
- 加齢黄斑変性症やその他の網膜の疾患は、放置すると失明に繋がります。根気よく治療を続けましょう。

- 勉強会は、中外製薬様よりご協力を頂きました。ありがとうございました。

